

# 専門実践教育訓練明示書（専門学校ベルランド看護助産大学校）

講座の名称	助産学科				
実施方法	① 通学（ <u>昼間</u> ・夜間・土日） ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号	2710049	—	2210011	—	1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数( 24人)	修了者数 ( 23人)	
平成4年 2月 5日	令和7年 3月 31日まで				
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	1041時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 助産師 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門学校、専門短期大学、専門職学科 ( )			
		教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した助産師養成所を卒業したもの			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		助産師、医療機関			
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
基礎助産学		126時間			
助産診断・技術学		318時間			
地域母子保健		30時間			
助産管理		32時間			
臨地実習・助産学実習		535時間			
<b>3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		看護師養成所を卒業したもの等			
③その他					

〔特記事項〕

# 専門実践教育訓練明示書 (専門学校ベルランド看護助産大学校)

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	23	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	24	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	23	人	受験率(③/②)	95.8	%
④ ③のうち合格者数	23	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	23	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数			人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人		
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない	20	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合)	学科試験、課題提出、技術試験等
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

# 専門実践教育訓練明示書（専門学校ベルランド看護助産大学校）

<b>6. 受講効果の把握方法</b>			
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各授業科目の授業時間数の出席率が2/3以上の者が受験資格を得、各科目試験において60%以上の得点の者に対し単位を認定する。		
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた、講義・演習・実習を行い、課題提出や技術試験による確認、さらに実習では臨地指導を担当教員と臨床指導者より指導を行い習熟度を確認している。		
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	所定の授業科目の単位を取得することとする。		
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	評価は、シラバスや教育要項を用い目標を明確にし知識試験や実習評価表にて総合的に判断している。		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>			
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	授業時の質疑応答に対応し、さらに実習では事前準備から臨地での指導や振り返りを行い、個々の学習理解度に合わせて個別に助言を実施している。		
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	国家試験対策として、入学時よりガイダンスを行い、国家試験対策として公開模擬試験・過去問題・対策講義等を計画的に行い資格取得のサポートしている。就職に関しては、就職説明会や就職試験日程の保証を行っている。		
<b>8. その他の事項</b>			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名: 理事長 亀山 雅男 ) 社会医療法人 生長会		
住所及び連絡先	大阪府和泉市肥子町1-10-17		TEL 0725-43-1234
施設名称及び施設長名	専門学校ベルランド看護助産大学校		(施設長: 学校長 大島 利夫 )
住所及び連絡先	大阪府堺市中区東山500-3		TEL 072-234-2004
苦情受付者	氏名 佐治 千恵 所属 事務部	事務担当者	氏名 佐治 千恵 所属 事務部
連絡先	TEL 072-234-2004	連絡先	TEL 072-234-2004
専門実践教育訓練経費 支払い方法	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,252,449 円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	250,000 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	1,002,449 円 第1期 577,449 円 第2期 425,000 円 第3期 円 第4期 円 第5期 円 第6期 円 (うち、必須教材費 152,449 円)	
③ 両方可能	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		370,000 円
	① 任意の教材費 (税込額)		円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		円
	③ 施設維持費 (税込額)	250,000	円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税)	120,000	円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,622,449 円

助産学科 授業科目および単位数・時間数

教育内容	授業科目	単位数	時間数
基礎助産学	助産学概論	1	16
	生殖医療と生命倫理	1	16
	性と生殖の形態機能	1	16
	周産期医学	2	30
	新生児・乳幼児学	1	16
	母子の心理社会学	1	16
	母子の健康科学	1	16
	小 計	8	126
助産診断・技術学	助産実践の基盤	1	30
	助産診断技術学Ⅰ	1	30
	助産診断技術学Ⅱ	2	60
	助産診断技術学Ⅲ	1	30
	助産診断技術学 実践Ⅰ	1	30
	助産診断技術学 実践Ⅱ	1	16
	周産期ハイリスクケア	1	30
	ウイメンズヘルスケア	1	30
	健康教育実践	1	16
	助産学研究Ⅰ	1	30
	助産学研究Ⅱ	1	16
	小 計	12	318
地域母子保健	地域助産活動	2	30
	小 計	2	30
助産管理	助産管理Ⅰ	1	16
	助産管理Ⅱ	1	16
	小 計	2	32
臨地実習 助産学実習	助産診断技術学実習 基礎Ⅰ	1	45
	助産診断技術学実習 基礎Ⅱ	1	45
	助産診断技術学実習 分娩Ⅰ	2	90
	助産診断技術学実習 分娩Ⅱ	3	135
	継続事例実習	2	60
	周産期ハイリスク実習	1	40
	ウイメンズヘルス実習	1	30
	助産地域実習	1	45
	助産管理実習	1	45
	小 計	13	535
総 計	37	1041	